

## H30. 2. 8 東淀川区区政会議 (仮)防犯・防災部会学習会 議事概要

日時・場所 平成 30 年 2 月 8 日(木)午後 7 時から 東淀川区役所 4 階 401 会議室  
出席者 (仮)防犯・防災部会委員 9 名、他部会委員 1 名、東淀川警察署 1 名

### 議題 1 防犯・交通安全に関する取組み内容について

- ・防犯の現状
- ・交通安全の現状
- ・具体的取組について

※フセンで課題を出し合いワークショップ実施

(防犯の意識向上について)

- こどもの集団下校や、夜間に帰宅する女性は携帯電話を通話状態にしたままにするなどを広げてはどうか。
- 自分は大丈夫だという意識を変える。青パトでアナウンスしたり身近な事件の事例紹介。
- 親同士がつながっていると互いのこどもも見える。親同士のコミュニケーションも大事。
- 防犯イベント・講習会の参加増えない。親子参加する地域の祭りやイベントなどで一緒に。
- 堅苦しいものになると聞かない。楽しいものを実施して親子に共有してもらうのが必要。
- 警察に依頼して防犯教室を開くだけでなく、資格認定にして一般の人ができるようになれば小さいところでも簡単にできる。護身術をみんなですてみるなど。
- 街灯を増やしてほしい。また、地域の方に玄関灯をつけてもらうお願いをしては。
- 地域の掲示板の防犯ポスター必要だが、ずっと同じでは風化。警察・区役所・地域で協力し毎月新しいトピックスで作れば、防犯意識が高い地域と犯罪者も認識するのでは。
- 散歩やジョギング、犬の散歩をされてる方に見守りボランティアをお願いして、多くの人が見守るまちということを、発信していけたらいいのでは。「わんこ見守り隊」など。
- 散歩する人に見守りペンダントなどつけてもらいアピール。犯罪抑止効果に繋がるのでは。
- 防犯教室は小規模で実践に即したもののほうが効果的では。
- 防犯 DVD 等教材を警察に借りて地域で流せばいいがあまり知られていない。掲示等周知を。
- 啓発ポスターについて、人間の目だけのデザインも犯罪の抑止に効果的。
- 意識付けをするために、事故事例・発生した場所等の共有をし注意喚起することも必要。
- 発生曜日などを地域・学校へ情報共有。
- 防犯ブザー配付してほしい。
- 業務委託の夜間防犯パトロールの強化。
- 防犯カメラがたくさん設置されているというアピールも抑止効果になる。

(交通安全意識向上について)

- 自転車保険は自分で自分の身を守るため入るもの。加入の意義や事故の危機感の啓発を。
- 自転車の照明やオートライトの啓発。これも自分で費用出し身を守ること。根本は自助。
- 各種イベントや敬老大会など、人の集まる場所でチラシ配布等周知啓発。
- 若者が交通ルール違反しがちだが、まずは大人が交通ルール遵守を身で示すこと。
- ルールを理解できてない。事故事例(場所等)・特定の道の走行ルールなどをHP等広報しては。